

佐賀県消防学校の概要

佐賀県消防学校

令和8年（2026年）4月1日

設置根拠

■法律

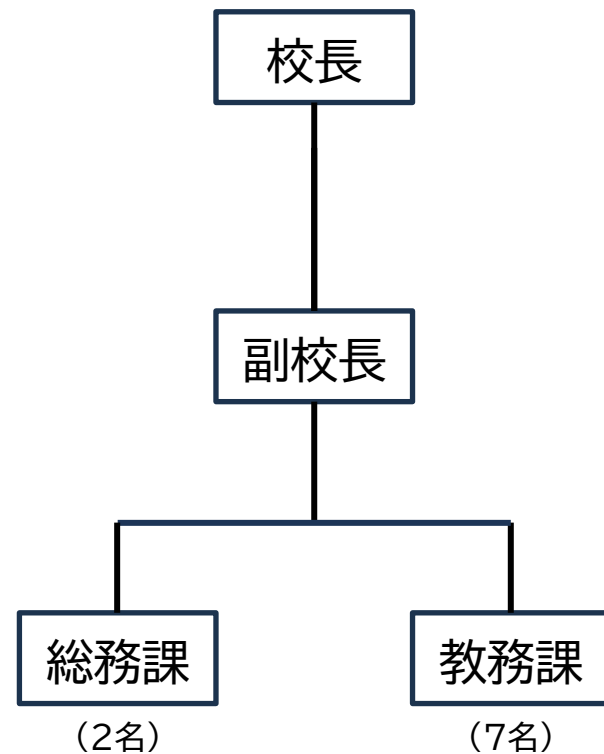
消防組織法第29条及び第51条

■条例

佐賀県消防学校設置条例

消防学校は、佐賀県政策部内の
現地機関です。

組織の概要(職員数11名)



学校の沿革(65年のあゆみ)

- 
- 昭和36年(1961年)9月 ● 消防学校開校(佐賀市城内)
 - 昭和47年(1972年)7月 ● 現所在地へ移転・主要施設完成
 - 平成 5年(1993年)7月 ● 学生寮完成
 - 平成 6年(1994年)3月 ● 本館改築完了
 - 平成22年(2010年)9月 ● 建物火災消火訓練施設(AFT)完成
 - 平成23年(2011年)10月 ● 本館耐震改修完了
 - 平成28年(2016年)3月 ● 新総合訓練施設(高層訓練棟、補助訓練棟、水難救助訓練施設、転落・滑落救助訓練施設、瓦礫下救助訓練施設))完成
 - 令和 2年(2020年)2月 ● 本館、学生寮の空調設備改修完了
 - 令和 6年(2024年)3月 ● 本館、学生寮、屋内訓練場の電気設備改修完了

教育訓練の概要



■基本方針

消防職員及び消防団員に対して、規律の保持や身心の鍛錬を図り、専門的な知識及び高度な技術を修得させ、複雑多様化する火災・災害等に的確に対応できる消防人を育成する。

■教育種別

1. 初任科教育(消防職員)

新任の消防職員に対し、消防の責務を正しく認識させるとともに、実務に重点を置いた基礎的な教育訓練を行います。

2. 幹部科教育(消防職員・消防団員)

幹部職員・団員に対し、それぞれの階級に応じ必要な学術・技術を修得させるとともに、部下の指導監督に必要な能力を養成します。

3. 専科教育(消防職員・消防団員)

消防職員及び消防団員に対し、専門の知識及び技能を修得させるために行う教育訓練を行います。

4. 特別科教育(消防職員・消防団員・消防に関係ある者)

上記以外の学校教育。特別の目的に行う教育訓練(資格・免許取得、一般の消防・防火クラブ員への訓練)を行います。

施設の概要

敷地面積: 27,090.12m²

■ 本館・学生寮: 日常の研修生活を支える施設です。

- ・本 館: RC3階建(1,712m²)
教室、講堂、救急システム実習室、食堂 など
- ・学生寮: RC3階建(1,728m²)
男子・女子個室、大浴場、洗濯室 など

■ 訓練施設: 実践的な訓練を行う、高度な施設です。

- ・高層訓練棟 : RC9階建 (989m²)
- ・補助訓練棟 : RC6階建 (653m²)
- ・水難救助訓練施設 : RC2階建 (204m²)
- ・建物火災消火訓練施設 : RC2階建 (204m²)
- ・屋内訓練場 : 鉄骨平屋 (127m²)
- ・その他の施設 : 転落・滑落救助訓練施設 など

配置図



令和8年度 消防学校教育実施計画

■ 1. 消防職員 教育

- ・初任科(第70期)
4月～10月(185日間)
- ・専科教育(予防査察・火災調査・救急・救助科)
9月～ 1月
- ・中級幹部科
2月～ 3月
- ・特別科教育(4～3月)
現任課程、指導員養成課程、資格取得課程、
一日入校課程

■ 2. 消防団員 教育

- ・初級幹部科 5月、2月
- ・指揮幹部科
現場指揮課程 5月、2月
分団別指揮課程 4月、1月
- ・指導員養成課程 4月
- ・女性団員課程 10月
- ・一日入校課程 5月～3月

■ 3. 一般・その他

- ・少年消防クラブ員防災研修 7月
- ・女性防火クラブ員防災研修 10月

佐賀県消防学校主要訓練施設



① 高層訓練棟

② 補助訓練棟

⑤ 転落・滑落救助訓練施設

③ 水難救助訓練施設

⑥ 瓦礫下救助訓練施設

④ 建物火災消火訓練施設(AFT)

訓練施設の機能

■ 消防活動困難な災害現場の再現

- ・中高層火災対応訓練(高層訓練棟)
- ・転落・滑落車両からの救助訓練(転落・滑落救助訓練施設)

■ 佐賀県特有の災害への対応

- ・暴風雨体験設備や大雨時などの増浸水対応訓練(補助訓練棟)
- ・風水害対応訓練(水難救助訓練施設)

■ 女性消防職員・団員への配慮

- ・専用トイレや更衣室の完備

■ 予防査察教育の充実

- ・高度化・専門化する予防業務に対応した査察実習室や消防用設備(補助訓練棟)

■ 水難救助訓練機能の充実

- ・車両水没事故対応訓練(水難救助訓練施設)

■ 広域的な訓練拠点としての活用

- ・周辺県の緊急消防援助隊等の部隊訓練(水難救助訓練施設ほか)
- ・大規模震災を想定した瓦礫下救助訓練(瓦礫下救助訓練施設)

高層訓練棟



■ 施設概要

- ・整備年月:平成27年(2015年)12月
- ・建物構造:RC造
- ・建築面積:199.39 m²
- ・延床面積:989.08 m²
- ・建物階数:9F
- ・建物高さ:35.5 m

■ 各階別主要訓練

- ・RF:はしご車設定、避難訓練
- ・9F:共同住宅対応訓練
- ・8F:共同住宅対応訓練(燃焼室)
- ・7F:共同住宅対応訓練
- ・6F:燃焼実験室
- ・5F:立坑救助訓練
- ・4F:立坑訓練、資器材倉庫
- ・3F:各種救助訓練
- ・2F:資器材倉庫
- ・1F:横坑訓練(資器材倉庫)

補助訓練棟



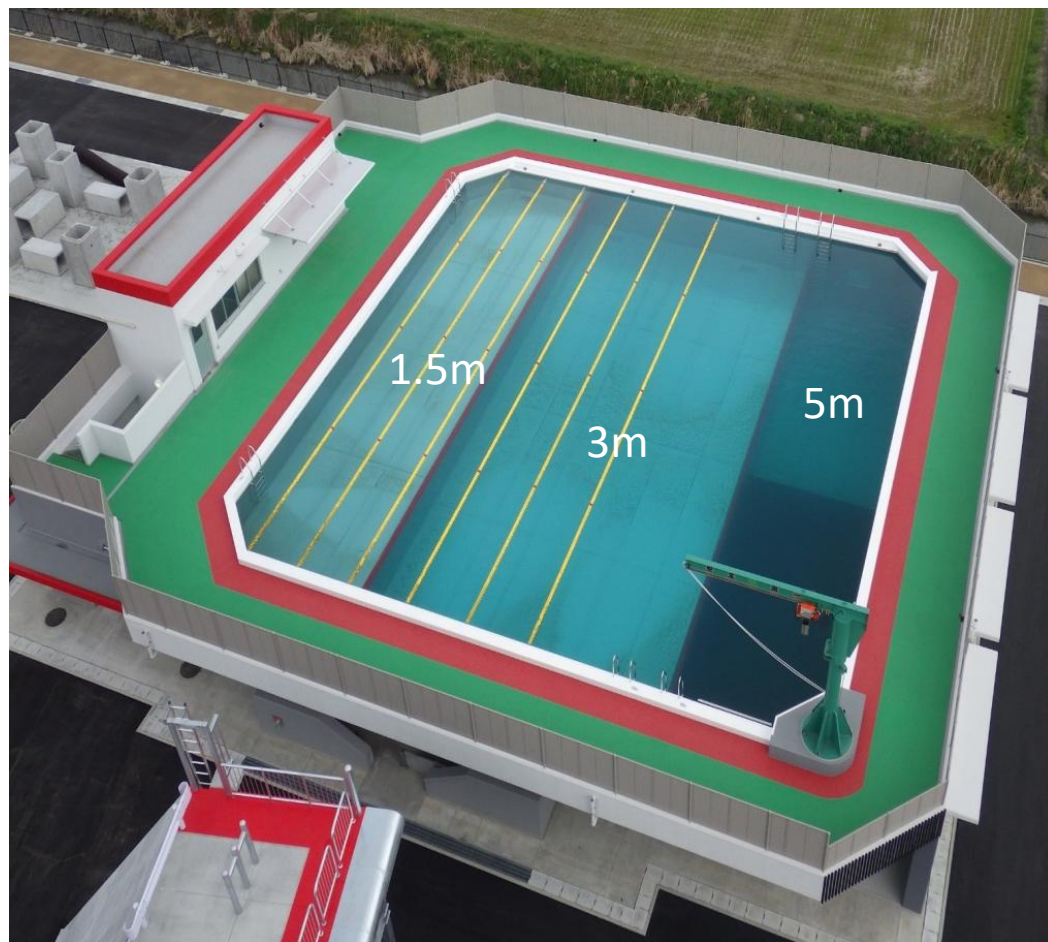
■ 施設概要

- ・整備年月:平成27年(2015年)12月
- ・建物構造:RC造
- ・建築面積:188.12 m²
- ・延床面積:653.18 m²
- ・建物階数:6F / B1
- ・建物高さ:24 m

■ 各階別主要諸室

- ・6F:消防用設備(避難・誘導関係)
- ・5F:消防用設備(警報関係)
- ・4F:消防用設備(消火設備)
- ・3F:各種救助訓練
- ・2F:自然災害対応訓練(豪雨・流水階段)
- ・1F:自然災害対応訓練(暴風雨等)
- ・B1:地下進入訓練

水難救助訓練施設



■ 施設概要

- ・整備年月:平成27年(2015年)12月
- ・建物構造:RC造(槽:ステンレス)
- ・面 積:268.8 m²
- ・水 面:20 m × 20 m
- ・水 深:1.5 m ・ 3 m ・ 5 m

■ 主要訓練

- ・潜水訓練
- ・車両水没救助訓練
- ・水防訓練(積土のう工法等)

建物火災消火訓練施設(AFT)



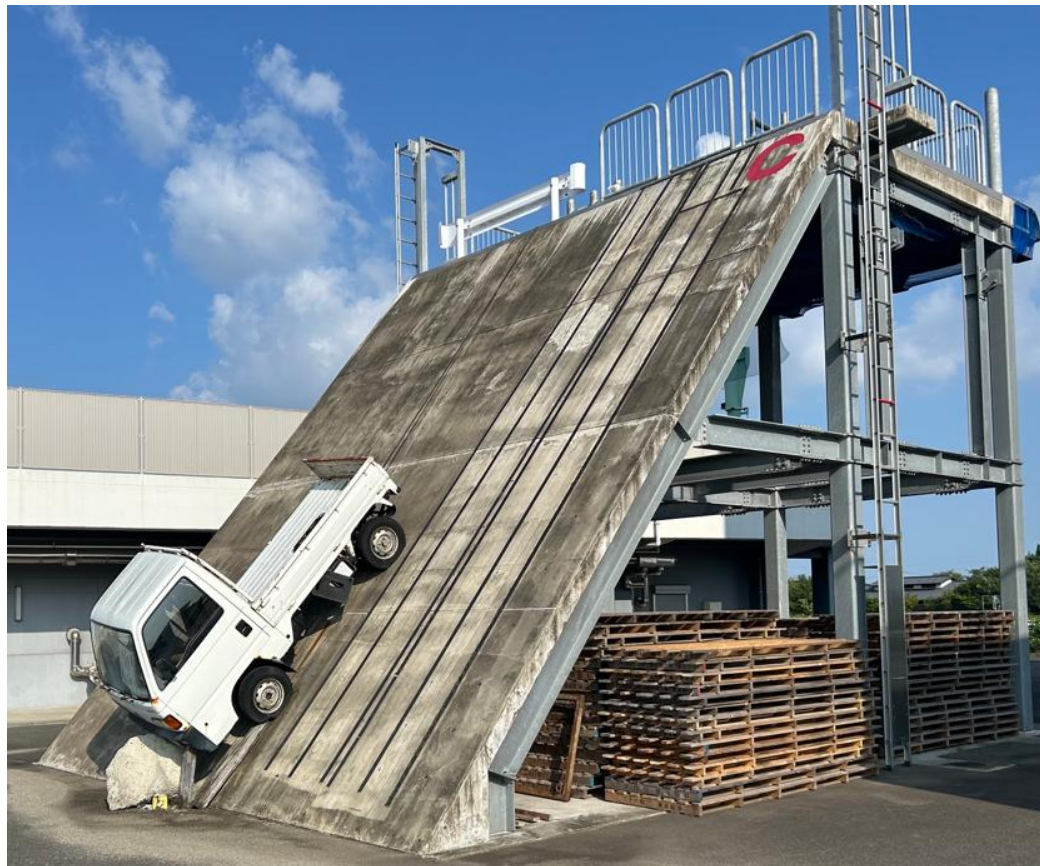
AFT:Advanced Firefighting Trainingsystem



放水による消火技術訓練

- **施設概要** : 整備年月 平成22年(2010年)9月 建物構造:RC造2F 建築面積:75.64 m² 延床面積:127.22 m²
- **各階別主要諸室**: 1F 消火訓練室、建物火災消火訓練装置 2F 煙中訓練室

転落・滑落救助訓練施設



■ 施設概要

- ・整備年月:平成28年(2016年)8月
- ・建物構造:S造
- ・建物高さ:7 m

■ 主要訓練

- ・転落、滑落救助訓練
- ・瓦礫下救助訓練

瓦礫下救助訓練施設

- 訓練イメージ -



■ 施設概要

・整備年月:平成28年(2016年)3月

■ 主要訓練

・瓦礫下救助訓練



消防職員教育



消防団教育

参考資料

- ・施設概要 詳細一覧
- ・令和8年度 教育実施計画 詳細一覧

【参考資料】施設概要 詳細一覧

施設	建築年	構 造	延面積	摘 要	
本館	S47.7	RC3階建	1,712.37 ^{m²}	1F	○校長室 ○教官室・事務室 ○会議室 ○講師控室 ○展示室 ○女性更衣室 ○印刷室 ○倉庫 ○女性用便所
				2F	○ICT教室 ○第二教室 ○理化学教室 ○談話コーナー ○倉庫 ○便所
				3F	○講堂・視聴覚室 ○救急システム実習室 ○図書室 ○器材倉庫 ○便所
学生寮	H5.8	RC3階建	1,728.63	1F	○食堂 ○厨房 ○受付 ○宿直室 ○娛樂室 ○集会室 ○大浴室 ○小浴室 ○トレーニング室兼脱衣室 ○男子便所 ○女子便所 ○倉庫 ○ボイラー室
				2F	○男子寮室(4室) ○女子寮室(3室) ○男子便所 ○女子便所 ○男子洗面所 ○女子洗面所 ○洗濯室 ○リネン庫
				3F	○男子寮室(7室) ○便所 ○洗面所 ○洗濯室 ○リネン庫
屋内訓練場	S48.3	鉄骨平屋建	933.90	(施設)ステージ・放送室・控室・訓練場(救助訓練施設・バトミントン施設・吊縄・助木・バックボード施設)・UDトイレ	
水難救助訓練施設	H27.12	RC2階建	204.17	1F	○更衣室 ○便所 ○濾過機械室 ○土嚢積訓練スペース
				2F	○監視室 ○倉庫
高層訓練棟	H27.12	RC9階建	989.08	1F	○横坑訓練室 ○資器材倉庫 4～5F ○立坑救助訓練室
				2F	○資器材倉庫 6F ○検索訓練室
				3F	○ロープ渡過各種救助訓練室 7～9F ○共同住宅災害対応実習室
補助訓練棟	H27.12	RC地上6階 地下1階	653.18	地下1F	○訓練室1, 2 4～5F ○消火設備実習室
				1～2F	○自然災害実習室 6F ○警報設備実習室
				3F	○ロープ渡過各種救助訓練室 7～9F ○共同住宅災害対応実習室
瓦礫下救助訓練施設	H28.3	鉄骨造	0	○転落・滑落・瓦礫下救助訓練施設	
建物火災消火訓練施設 (AFT)	H22.9	RC2階建	127.22	1F	○消火訓練室 ○建物火災消火訓練装置 ○プロパン庫
				2F	煙中訓練室
土砂災害訓練施設	—	盛土	0	○盛土高0.8m	
車庫	H4.9	鉄骨平屋建	299.41	○機関実習コーナー ○工具室 ○工作コーナー ○車両8台収容	
倉庫	S63.3	鉄骨平屋建	133.59	○器材倉庫	
新車庫	H26.7	鉄骨平屋建	111.37	○車両3台収容	

【参考資料】令和8年度 教育実施計画 詳細一覧

対象	教 育 科（ 課 程 ）		実施 回数	教 育 期 間		実 施 延日数	実 施 実日数	実 施 時間数	基 準 時 間	備 考〔 受 講 対 象 等 〕		
消 防 教 育	初任科教育	初 任 科【第70期】	1	R8. 4. 7 ～ 10. 8		185	124	866	800	採用後、1年未満の消防士を対象に実施		
	専 科 教 育	予防査察科【第12期】	1	R9. 3. 9 ～ 3. 24		16	11	75	70	予防業務に従事している者及び予定者を対象に実施		
		火災調査科【第16期】	1	R9. 1. 19 ～ 2. 3		16	12	82	70	火災調査に従事している者及び予定者を対象に実施		
		救 急 科【第32期】	1	R8. 10. 13 ～ 12. 4		53	37	257	250	救急隊員資格未取得者を対象に実施		
		救 助 科【第28期】	1	R8. 10. 21 ～ 11. 19		30	21	145	140	救助隊員資格未取得者を対象に実施		
幹部科教育	中級幹部科【第8期】		1	R9. 2. 24 ～ 3. 5		10	8	54	49	消防司令及び組織の管理を職務とする消防司令補を対象に実施		
防 別 職 科 教 育 員	特 別	現任課程	水難救助コース	1	R8. 7. 29 ～ 8. 7		10	8	54	潜水業務に従事している者かつ別紙実施計画の入校条件を満たしている者を対象に実施		
			警防コース	1	R9. 2. 15 ～ 2. 19		5	5	35	初任科卒業後10年未満、副士長以下の職員を対象に実施		
			はしご車コース	1	R9. 2. 8 ～ 2. 10		3	3	19	はしご車運用に従事している者又ははしご車運用指導的立場の者		
	指導員養成課程	訓練礼式コース	1	R8. 4. 17		1	1	6	訓練礼式を指導する立場にある者を対象に実施			
		ポンプ操法コース	1	R8. 5. 14 ～ 5. 15		2	2	12	ポンプ操法を指導する立場にある者を対象に実施			
	資格取得課程	酸欠コース	1	R8. 8. 19 ～ 8. 21（予定）		3	3	21	【通学】酸素欠乏・硫化水素危険作業主任技能資格未取得者を対象に実施			
		クレーンコース	1	R8. 7. 22 ～ 7. 24（予定）		3	3	21	【通学】小型移動式クレーン運転技能資格未取得者を対象に実施			
	一 日 入 校 課 程	玉掛コース	1	R8. 9. 2 ～ 9. 4（予定）		3	3	17	【通学】玉掛技能資格未取得者を対象に実施（小型移動式クレーン運転技能資格取得者のみ）			
		AFTコース	-	4月中旬～翌年3月中旬（要調整）								
		災害現場総合コース	-	4月中旬～翌年3月中旬（要調整）								
		潜水活動コース	-	4月中旬～翌年3月中旬（要調整）								
		小型無人航空機コース	-	4月中旬～翌年3月中旬（要調整）								
消 防 職 員：小 計			14			340	241	1,664				
消 防 団 科 教 育 員	幹部科教育	初級幹部科	2	①R8.5.23～5.24 ②R9.2.27～2.28【予備日】R9.3.6～3.7		2/1期	2/1期	12/1期	12	班長及び予定者を対象に実施（2期）		
		指揮幹部科	現場指揮課程	2	①R8.5.9～5.10 ②R9.2.13～2.14【予備日】R9.2.20～2.21		2/1期	2/1期	14/1期	14	部長又は部長と同等の実務経験を有する副部長を対象に実施（2期）	
			分団指揮課程	2	①R8.4.25～4.26 ②R9.1.30～1.31【予備日】R9.2.6～2.7		2/1期	2/1期	10/1期	10	分団長及び副分団長を対象に実施（2期）	
	特別科	指導員養成課程	1	R8. 4. 19		1	1	6	部長以上を対象に実施			
		女性団員課程	現任コース	1	R8. 10. 18		1	1	6	班長、部長及び予定者を対象に実施		
			基礎コース	1	R8. 10. 18		1	1	6	団員を対象に実施		
	一 日 入 校 課 程	幹部コース	-	5月～翌年3月上旬（要調整）						市町の要望により消防学校で実施		
			-	5月～翌年3月上旬（要調整）						市町の要望により消防学校で実施		
			-	5月～翌年3月上旬（要調整）						市町の要望により消防学校で実施		
			-	5月～翌年3月上旬（要調整）						市町の要望により消防学校で実施		
			-	5月～翌年3月上旬（要調整）						市町の要望により消防学校で実施		
消防団員スキルアップ出前講座			5	①小城市②玄海町 ③みやき町 ④吉野ヶ里町 ⑤太良町		5	5			各市町に出向き訓練を実施		
消 防 団 員：小 計			14			8	8	18				
一 般	少年消防クラブ員防災研修		1	R8. 7. 28		1	1	6	小学校4・5・6年生を対象に実施			
	女性防火クラブ員防災研修		1	R8. 10. 16		1	1	6	女性防火クラブ員を対象に実施			
	自衛消防防災研修			5月～12月上旬（要調整）		5	5	30	各事業所の要望により消防学校で実施（宿泊なし）			
	一 般：小 計		2			7	7	42				
学 校 教 育：合 計			30			355	256	1,724				

校 訓

県民のいのちとくらしを守るために

一、全力で

一、迅速に

一、心をひとつに

変化する現場に強い
消防人を目指します。

佐賀県消防学校「校歌」

作詞 森 喜一
作曲

一、天山の姿清しき^{すが} この窓に

励み深めん 師と友と

規律 協同 消防の

心ひとすじ 研鑽^{けんさん}の

ここに意気あり 光あり

誓いあらたに 消防学校

二、葉隠^{よくや}の沃野^{よくや}かぐわし この庭に

響きたかめん 師と友と

勇氣 決断 消防の

心ひとつに 団結の

ここに業あり 力あり

誇りも崇^{たか}き 消防学校

三、ふるさとの山河うるわし この空に

祈り果たさん 師と友と

保安 挺身^{ていしん} 消防の

心ひたすら 奉公の

ここに愛あり 誠^{まこと}あり

使命をになう 消防学校